

5月の園だより



令和5年5月1日
目黒区立鷹番保育園園長

木々の青葉や空の青さが心地よい季節となりました。そのさわやかな青空の下、5歳児は横浜にあるこども自然公園にバスで遠足に行きました。ウグイスの声に耳を傾けたり池の亀やコイを見つけたり、「なんだかカッパがいそう」とロ々に言いながら、ピクニック広場を目指して元気に歩きます。広場では斜面をゴロゴロ転がったり、亀岩に寝そべったりしていました。亀岩はいつの間にか海賊船になり、船長や乗組員になりきって遊び始めます。そのあとは保育士が隊長となりけもの道を進みます。薄暗い道では「こわいよ」「大丈夫だよ」「何かいるかな」とドキドキしながらも勇敢に進み、明るいところに出ると「やったー」とホッとしているようでした。池に戻ってきたのでカッパを探していると、かじった形跡のあるキュウリを発見しました。「カッパが食べたんだよ」「カッパがいるってことだ」と大興奮です。カッパの余韻に浸りながら楽しみにしていたお弁当を食べ、さくら山ではダンボール滑りを楽しみました。五感を使って自然を満喫し、イメージ豊かにごっこ遊びを楽しみながら体をいっぱい動かして過ごした遠足でした。

1,2歳児は新しい環境にも慣れ、園庭では水や泥の感触を味わいじっくりと遊んだり、タイヤの山に登りダイナミックに遊んだり、広々と園庭遊びを楽しんでいるようです。滑り台では自分にできることを考えながら、少し難しいことに挑戦する姿が1歳児でも2歳児でも見られます。保育士は子どもの『やりたい』を大切にしながら、子どもが自分でできること、できないことを知ったり、工夫したりすることを助けています。

先日は全体保護者会に出席くださりありがとうございました。今月は各クラスの懇談会を予定しています。年齢ごとの子どもの姿を担当や他の保護者の方と共有できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

行事予定

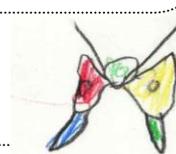
身体計測

避難訓練

懇談会について

5歳児クラス懇談会

2歳児クラス懇談会



看護師より

新年度、初めての身体計測を行いました。特に、きりん組の子どもたちは「大きくなってるはず」とワクワクしながら計測しています。「3月より伸びたよ」と伝えるとさらに何センチになったか、どのくらい大きくなっているか確認してくる姿もありました。毎月の身体計測は、子どもが自分の成長を実感できる良い機会になっていることを改めて感じました。看護師としても、子どもと一緒にその成長を喜び合えることはとても幸せなことであり大切な時間になっています。また、これから始まる健康診断も子どもが自分たちの成長を感じるとともに、自分の体に興味関心をもつことができるきっかけになる行事にしていきたいと考えています。ご家庭にとっても、お子さんの成長に喜びを感じられることの一つになってくれたら嬉しいです。

何か、健康面のことで気になることがありましたらいつでも声をかけてください。



入園・進級した子どもたちの様子をお知らせします



「笑顔がいっぱい」

1歳児クラス

新しい環境に慣れ、保育士と一緒に生活する中で沢山の笑顔が見られるようになってきた子どもたちです。

園庭遊びでは、興味のある方へ歩いたり這ったりし、行動範囲が広がっています。花を見つけると指を差し「あたーあたー」と言ったり、2歳児の子がタイヤに隠れていると「ばぁ」と言って同じことをやってみようとする姿が見られたりします。砂や水に触れることも好きで、砂の中から小石を器用につまむと器に入れたり出したりしてじっくり遊び、水が入っているタイヤにジョーロやペットボトルを沈めて水を移し替え、辺りを見渡しながら「はっば」と草が生えているプランターにかけて楽しんでいきます。

たくさん遊んだ後は“美味しいね”と友達や保育士と顔を見合わせながら楽しい雰囲気の中で食事をし、コットに横になって保育士に見守られながら安心して眠る姿が見られます。

今後も気持ちに共感し、寄り添ってもらおう心地良さを感じられるように様々なことを試して遊ぶ姿を見守っていきます。



「私もやってみよう」

2歳児クラス

園庭で滑り台の階段を登っている子が、滑り台の斜面を柵につかまって下からよじ登っている友達の姿を見て、自分も同じように挑戦し始めました。慎重に登り続け上まで到着することができました。到着できると嬉しそうに保育士に微笑みかけてくれます。「やったね、上まで登れたね」と声を掛けると体を揺らし喜びを表現しています。その後、滑り台を笑顔で滑り下に着くと今度は友達と一緒に斜面を登って、楽しんでいました。進級して、少しずつ新しい環境に慣れ安心して過ごせるようになってきたことで、自分のやってみたいことをじっくり楽しむ姿がみられ、さらに友達の姿にも刺激を受け自分も同じことをやってみたいという意欲がでてきている姿に嬉しさを感じた一場面でした。

これからも子どもたちが安心して過ごせるように見守り、自分からやってみようという気持ちに寄り添いながら、一緒に色々なことを楽しんでいきたいと思えます。



「こいのぼり作り」

5歳児クラス

こいのぼりを絞り染めで作るためにみんなで話し合いをしました。「らいおん組の時より大きいこいのぼりを作りたい」「みんなで色を相談して決めたい」と子どもたちから意見がでて、グループごとに色を決め5つの大きなこいのぼりを作ることになりました。早速グループごとに何色にしたいか話し合いをしますが、思いが平行線でなかなか決まらないグループもありました。話し合いの中で、他のグループも同じ色を選んでることを知り、「緑と黒がないと寂しいよ。やっぱり黒にしようよ」とグループの友達を説得する姿や、「さっき青に決まったんだから、変えたくない」等思いを伝え合う姿がありました。クラスみんなでグループごとに違う色のこいのぼりを作ろうという方向に話がまとまり、グループそれぞれの色が決まりました。友達と意見が異なり、相談して取り組むことの難しさを感じながらも、自分たちで決めようと最後まで話し合いました。絞り染めの難しい作業は友達と協力して取り組み、みんなで作る楽しさを感じながら「明日は染める本番だよ」と次の活動に期待する子どもたちです。完成したこいのぼりを空に泳がせると「いいねー」「かわいい」と喜んでいます。これからも友達と協力・工夫をしてみんなでやり遂げる達成感を味わえるような活動をたくさん行っていきます。